

## 獨協埼玉高等学校 令和4年度 第三者評価

実施日:4月21日

### 1. 能動的学習姿勢を取り入れ、自らの考えで判断できる人物育成の教育。

授業の質向上はアンケートで測ることができるが、能動的な学習に関してわかるようなアンケート設計なのか私は見ていないのでわからない。積極的に学び自ら考える姿勢があれば予習や質問の増加につながると思うがどうであろうか。

目標2と重複するが将来の目標が明確なら必然的に能動的になるはず。目標が明確でないなら大学進学をどの基準で考えるかを今一度固めることから始めてはどうか。

### 2. 多様な進路目標の実現に向けて。

自己評価では満足度が高く、方向性も間違っていない。

大学改革が進んでいるので、教員の側が大学に対する認識と知識を強化する必要があるだろう。

### 3. 登下校時のマナー問題。

獨協埼玉に限らない上での私見だが、昔のように柄の悪い高校生が減った分、以前の中学生のようにはしゃいでいる高校生を見かけることが多くなった気がする。全体の低年齢化とすれば一学校の責任ではないものの、マナーの悪い生徒へは以前の高校生と違う対応が必要なのかもしれない。

### 4. 安全面の追求。

自己評価が高く特に問題なし。

\*高校への見解は中学に比べて少ないですが、中学の見解が高校に通じるものも多々あります。